



平成27年 2月20日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

浚渫兼油回収船「清龍丸」及び海洋環境船「白龍」を一般公開

～3月7日(土)名古屋港ガーデンふ頭で実施します～

1. 概要

平成27年3月7日(土)に名古屋港ガーデンふ頭において、国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所所属の浚渫兼油回収船「清龍丸」及び海洋環境整備船「白龍」の一般公開を行います。

2. 日時・場所等詳細

日時：平成27年3月7日(土) 10時00分～15時00分、
場所：名古屋港ガーデンふ頭 2号岸壁
その他：事前申し込み不要、入場料無料

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

名古屋港において航路等の浚渫作業を行っていますが、大規模流出油事故が発生した場合には速やかに事故海域へ向かい油回収を行います。また、災害支援機能として衛星通信システム、ヘリコプターデッキ等を装備しています。

【海洋環境整備船「白龍」】

海洋環境保全及び航行船舶の安全性の確保のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域(約1,800km²)の浮遊ゴミ回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時には油回収を行う船舶です。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先

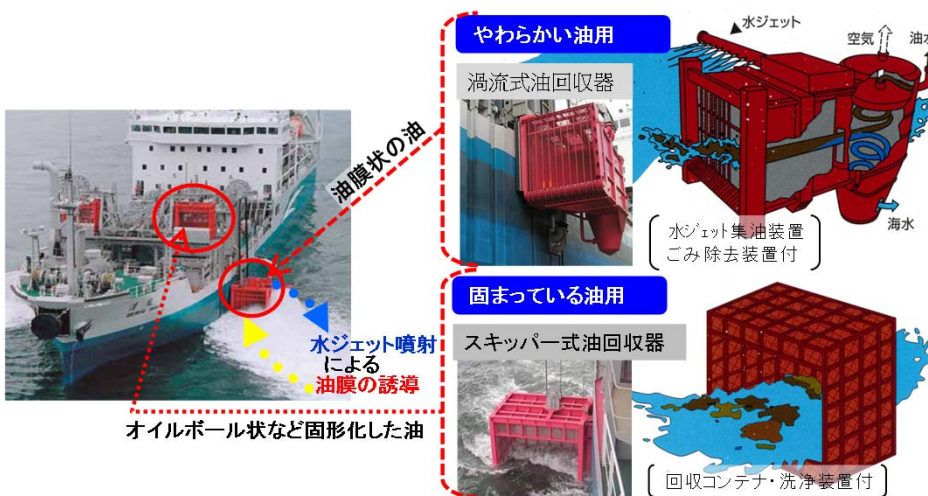
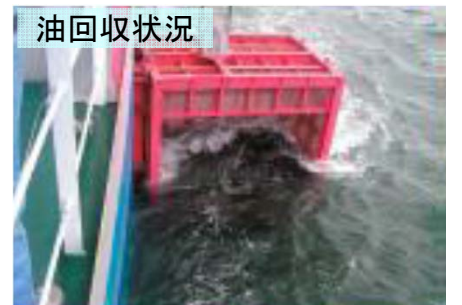
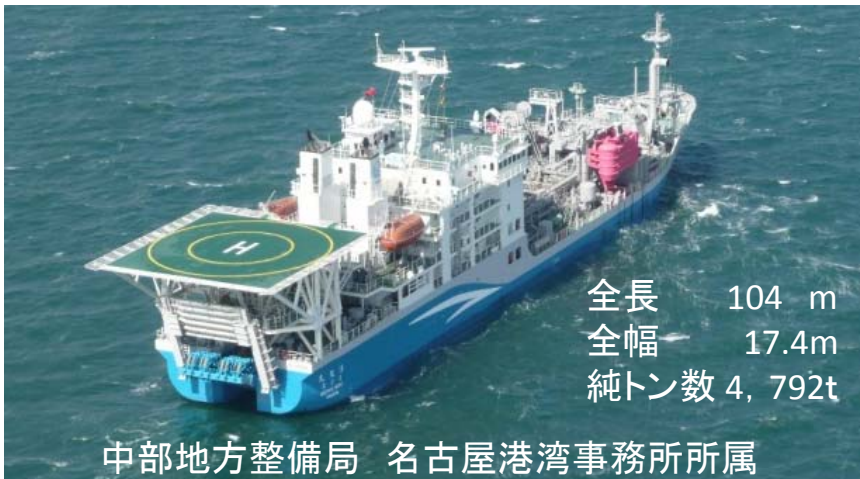
国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 下田(しもだ)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl(ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



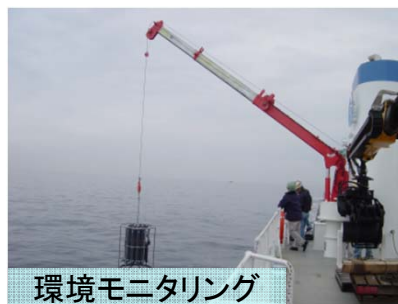
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】